

--	--	--	--

～ 経営的側面から複合災害にも対応できる ～

BCP監査の視点と具体的手法

日時 2022年1月14日(金) 10:00～17:00 (6H)

会場 東京・代々木・本会内セミナー室 (右図参照)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 TEL(03)3403-1891(直)

講師 プリンシプルBCP研究所
はやしだ とも ゆき
所長 **林田 朋之氏**

対象 内部監査部門の方
経営企画部門・リスク管理部門の方
情報システム部門の方



主催 **一般社団法人 日本経営協会**

開催にあたって

コロナ禍にあって、今後30年以内に来ると想定されている首都直下地震と南海トラフ地震。これらが合わさる複合災害は、毎年訪れる台風や大雨などの自然災害も含め、今までのBCPを大きく変えることになりました。対策本部の在り方、運営方法、組織マネジメント、訓練など、今までの常識が通用しないNew Normal時代に即応したBCPの構築や見直しは企業や法人にとって経営上の優先度を上げる危機管理の重点項目になっています。

本セミナーでは、これら複合災害としてのBCP監査を、どのような視点で捉え、チェックし、評価するかの基本と実践的手法について、演習を含むセッションにより、監査の応用力を高めて頂きます。

■参加料 (1名様)

- ◇ 日本経営協会会員 (1名) : 33,000円 (税込)
- ◇ 一般 (1名) : 40,700円 (税込)

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はFAXにてお申込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者(連絡担当者)までお送りします。不着の場合は必ず電話にてご確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までお願いいたします。

- 振り込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
- 教材は原則として当日会場にてお渡しします。
- 参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込みの場合は、全額返金させていただきます。
- 録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください(特記の場合を除く)。

■キャンセルについて

開催日の3営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索/ご入会のご案内」をご参照ください。

■WEBお申込みの流れ

- ① 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <http://www.noma.or.jp>
- ② 「セミナー/講座」を選択
- ③ 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- ④ ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック。
- ⑤ ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- ⑥ お申込みをいただきますと、確認メールが届きます。

お申込み・お問合せ先 **一般社団法人 日本経営協会**
企画研修グループ ●担当: 緒方
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL (03) 3403-1891(直) FAX (03) 3403-1130
E-mail: tms@noma.or.jp URL <http://www.noma.or.jp>

一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ 宛
FAX (03) 3403-1130

事務局 使用欄 No. _____

参加申込書		BCP監査の視点と具体的手法		17740	2022.1/14 10:00開講 NOMA
フリガナ 企業(団体)名	フリガナ 所在地	TEL	FAX	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般 (該当にレ印をつけて下さい)	
参加者氏名		所属・役職		メールアドレス	
フリガナ				e-mail:	
フリガナ				e-mail:	
フリガナ				e-mail:	
請求書・ 参加券送付先	フリガナ	所属・役職	メールアドレス	e-mail:	

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会セミナー(事業)のご案内 ※なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。□不要 ※今後eメールによるご案内も予定しています。ご希望の方は、ご記入ください。

プログラム内容

1. コロナ禍における複合災害とは

- 1.1 BCPの本質と基本原則
- 1.2 各対象によるBCP策定手法の違い
- 1.3 BCPを取り巻く環境の変化
- 1.4 BCPに対する外部からの要望とSDGs/CSR
- 1.5 企業リソースと災害・BCPの関係
- 1.6 事業継続マネジメントシステム
- 1.7 コロナ禍における複合災害対応 (例. 震災)
- 1.8 ITの強化がBCPの実効性を上げる
- 1.9 災害の「可視化」
- 1.10 企業のBCP見直し重点項目
- 1.11 企業のリスク項目と各BCPの影響度

2. 複合災害対策本部の運用

- 2.1 震災・複合災害時の「事務局」の役割 (例)
- 2.2 Before：対策本部室の構成
- 2.3 リモート対策本部の運用とは？
- 2.4 After：複合災害対策本部構成 (案)
- 2.5 複合対策本部の仕事は、「ハイブリッド型」労働
- 2.6 コロナ禍における対策本部の運用
- 2.7 複合対策本部の組織マネジメント：OTD
- 2.8 OTD (Objectives & ToDo) 設定例
- 2.9 ウェブ対策本部 (災害ポータルサイト) とは
- 2.10 初動フェーズマニュアルの改訂 (例)
- 2.11 複合災害対策本部訓練
- 2.12 対策本部作業における安全配慮義務
- 2.13 感染者、濃厚接触者に対する情報管理

3. 監査部門が押さえておくべきBCPの基礎知識

- 3.1 事業影響度分析
- 3.2 事業影響度分析の実例
- 3.3 事業影響度分析演習
- 3.4 事業影響度分析の経営的視点

4. BCP 監査の具体的手法

- 4.1 BCP内部監査の目的
- 4.2 BCMSと内部監査
- 4.3 監査のガイドライン：ISO19011
- 4.4 BCP監査体制と役割
- 4.5 BCP監査員に必要な力量
- 4.6 BCP監査計画の策定
- 4.7 BCP監査の準備
- 4.8 BCP監査チェックリスト
- 4.9 内部監査の実施 (情報収集)
- 4.10 インタビューと記録
- 4.11 BCP監査の報告
- 4.12 是正処置とフォローアップ監査
- 4.13 マネジメント・レビュー

5. BCP内部監査の具体的手法

- 5.1 BCP監査における“五つの経営的視点”
- 5.2 有事における役員・取締役の初動行動
- 5.3 企業のBCPチェック項目 - 体制編 -
- 5.4 企業のBCPチェック項目 - 機能編 -
- 5.5 企業のBCPチェック項目 - 労務管理編 -
- 5.6 企業のBCPチェック項目 - 感染防止編 -
- 5.7 BCPのドキュメント体系
- 5.8 BCP規程目次案
- 5.9 ホームページへの“BCP活動”記載例

6. BCP 監査におけるチェック内容

- 6.1 企業リソースへの影響
- 6.2 ステークホルダーからの評価
- 6.3 物流・サプライチェーンへのリスクマネジメント
- 6.4 ITとBCP
- 6.5 安全配慮義務違反と2015年会社法改正
- 6.6 対策本部メンバーのヘルスケア・メンタルヘルスケア
- 6.7 複合災害への対応
- 6.8 取引企業からのBCP構築要請と対応
- 6.9 内部監査シミュレーション演習
：不適合報告書作成

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

*出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせください。

講師プロフィール

プリンシプルBCP研究所 所長 はやしだ ともゆき **林田 朋之 氏**

北海道大学大学院修了後、富士通株式会社入社、その後米シスコシステムズ入社。
金融・製造業・流通業など大企業の大規模ネットワーク構築のプロジェクトマネジメントを担当。
その後、独立コンサルタントとして、大企業、中堅企業に向けた、震災および感染症、自然災害の

BCP/危機管理、リスクマネジメント、情報セキュリティ、IT、AI/DX などのコンサルティング業務を実施。日経BP、ダイヤモンドオンライン、リスク対策ドットコム等への記事投稿、学会シンポジウム発表、各種セミナー講演、企業内研修、テレビ・ラジオ出演など多数。